

高・速・道・路・反・対 No. 7

5/3/1

藤巻 だより

静かな環境を守り
高速道路に反対する会

◎市原案発表に伴う緊急役員会

高速道路市原案が発表された2/24都様宅で次のことについて話し合った。昨年5月の素案が、我々の意向を全く無視する一方的なものであることを認め合った上での意見交換であった。

- ① 今回の市原案はこれまで 高架式 又は 半地下式 といわれていた「変更素案」が原案において藤巻町通過のかなりの部分でトンネル式に変更されている点は、市側が我々の反対運動を無視できなくなったことを端的に物語るといってよいであろう。
- ② しかし反対運動の基本的な住民の福祉を守る点(騒音、排気ガス、振動による公害)について現在の新聞における発表では具体的な事実が何も明らかではない。しかも藤巻町3丁目トンネルの出口が存在するという原案では全く承服できない。
- ③ 今後の状況調査及び市側の交渉を通じさらにもっと強い姿勢で推進する必要がある。

◎市議会建設環境部会長に陳情

早川委員長はじめ林田、南川副委員長、池田交渉部長、川崎、上野、鋤納、箱垣都各委員は2/24午前林鏡沿上記部会長(中村区選出社会党)に反対陳情をした。(上野委員の紹介)建設環境部会は、林委員長を中心に各党委員で構成され、高速道路問題に關する今回の原案について議会の意向を決め市長の諮問に答える。林氏は4月中旬ごろ答申すると説明、藤巻町の意向を各党などに反映したら……とアトバイスしていた。

◎名古屋弁護士会公害対策委員との懇談会

(2月16日夜、藤巻町都様宅。弁護士会側=小栗副委員長他計4人、藤巻町側=早川委員長他計6人)初めに、小栗副委員長から「これまで南区要町その他で会合した。弁護士会としては、高速道路公害に対する中間意見書を出した」などの話があった。ついで早川委員長から、藤巻町の反対運動について概要説明があり、質疑応答に入った。山田委員からは別項のように、現在の藤巻町の環境がきわめて良好であることを具体的な数字をあげて述べた。

当方からの質問の中心は、高速道路反対運動に対し弁護士側からどのような支援が期待できるかであったが、弁護士会側にはなぐら手持ちのツクリ札があるわけがなく、いちばん大事なのは、住民の強い反対運動そのものであることを強調され、われわれもよく意内得した。

最後に早川委員長の謝辞とともに、今後折にふれて、御協力をとの要請があり、快く了承され、有益な懇談を終った。(運動本部 山田)

◎現在の藤巻町の環境(主として騒音および大気清浄度について)

①騒音

平日の昼間は平均38ホンときわめて静か(既報 藤巻たより No.3 参照のこと)

②大気清浄度

④藤巻町へ移住してせんとくが治った 2例

(ハ)夫人(前住所瑞穂区堀田) (ロ)S氏(男 67才 前住所 東京都江戸川区) 次ページに続く

① NO₂の第一回測定

昭和50.1.24午後5時から24時間、町内10ヶ所での結果は、0.000~0.008PPMと極めて少ない。

② NO₂の第二回測定

昭和51.1.17.17時から5ヶ所連続一週間にわたり24時間毎に測定、大部分は基準0.002PPM以下、但し信貴山下付近及び木直園町信号付近では基準を越えた日が統計8回あり、最高0.029PPM。
(運動本部 山田)

◎公害現地見学会報告 (昭和51年2月22日)

雨天の中を参加者約20名が、マイクロバス、乗用車に分乗して見学しました。まず高針に建設中の公社分譲住宅、これは環2沿いで将来の騒音を予測し、2重窓になっている所。ついで急ピッチで工事進行中の53号バスの現場から大高インターへの巨大なコンクリートの橋脚と高架が交差するランプウェイの下は、名四国道を走る車の排気がスモークとす黒くけむり、視界もきかず一同暗たんとして言葉もありません。2時から是要町の市民大会に参加、会場の壁には反対運動を支援する人達の垂幕がすまなく、4年間のねばり強い闘いの跡を語り、松永様の「私達は何百回と諸願し陳情してきた。日に10万台の車が通る今のこの車公害を何とかしてくわといっているた」との言葉には苦しさとか強さとかあふれていました。藤巻町を代表して早川委員長も挨拶され生まれたばかりの私達の会にも支援の拍手が送られました。

トヨタ降りの中で5時30分解散、私達の運動も、車公害の現実を目で見、肌を感じることは如何に大切かを思います。今後の催しには皆さんこまめに参加しましょう。

(運動本部 南川)

◎第2回(3月~4月分)集金のお願!!

昭和51年度、第1回(1月~2月分会費)集金に際しましては、会員諸氏の御協力を心から御礼申し上げます。

前回の案内のとおり、第2回集金(3月~4月分会費)を来る3月1日~3月5日間に前回伺いました財務部員が参考致しますので、何卒よろしく御協力下さいませよう。お願い申し上げます。(財務部長 加藤)

